

筏津地区公共施設再編基本構想 概要版

<目指す施設像>

笑っているパパやママが好き！

楽しい

楽しい思い出は宝物。
「やっぱり、このまちが好き！」
「帰ってきたい」・「住んでみたい」U・Iターンにつながります。

スポーツ

子どもはダイナミックな遊びが大好き！幼児期に体を動かすことは運動の楽しさを知るチャンス！

子育て応援施設

みんなの「いくポート」

くつろぐ

ときには子どもを「いくポート」に預け、心地よいソファや音楽、おいしい飲み物やスイーツがある図書館併設「いくポートカフェ」でリフレッシュ！

学ぶ

交流から生まれる学び。育児あるあるや実践的でパパも気軽に参加できる「時短家事」や「ペアレント・トレーニング」等の講座を開催

遊ぶ

リビングや広場でお友だちもパパもママも一緒に遊ぶ！ここから交流が広がります。

雇用の創出

施設の一括管理による経営・運営事務や各講座、教室の講師やインストラクター、さらには、カフェ等販売、ネウボラ機能や保育機能で必要な有資格者の雇用を創出

<施設機能>

生涯学習機能

- ☆ 幅広いニーズに対応した魅力ある事業

スポーツ機能

- ☆ 多様な利用で、心身ともに健康維持

図書機能

- ☆ 子ども連れでも気軽に利用できる環境

ロビーホール機能

- ☆ イベント、音楽祭、講演会で活用

子育て支援機能

- ☆ 子育て世代の居場所

子ども応援機能（児童生徒）

- ☆ 児童生徒の居場所

食育機能

- ☆ 給食センターと連携した食育の拠点

保健機能

- ☆ 乳幼児健診、健康増進で福祉の拠点

<ゾーニング>

既存の機能を継続するとともに、その機能の向上を図り、市民に親しまれ、喜ばれる地区を目指して整備していく。

特に、利用者層の拡大を進めていくため、これまでの文化・スポーツに加え、子育て支援の拠点として、また、スポーツを通じて市民の健康増進活動の場として幅広く利用され、訪れたいくなるように、「子育て・健康（スポーツ）・文化ゾーン」として魅力ある地区を目指して整備していく。

また、福祉保健センターが立地するエリアについては、「高齢者福祉ゾーン」として活用する。

<施設配置イメージの検討>

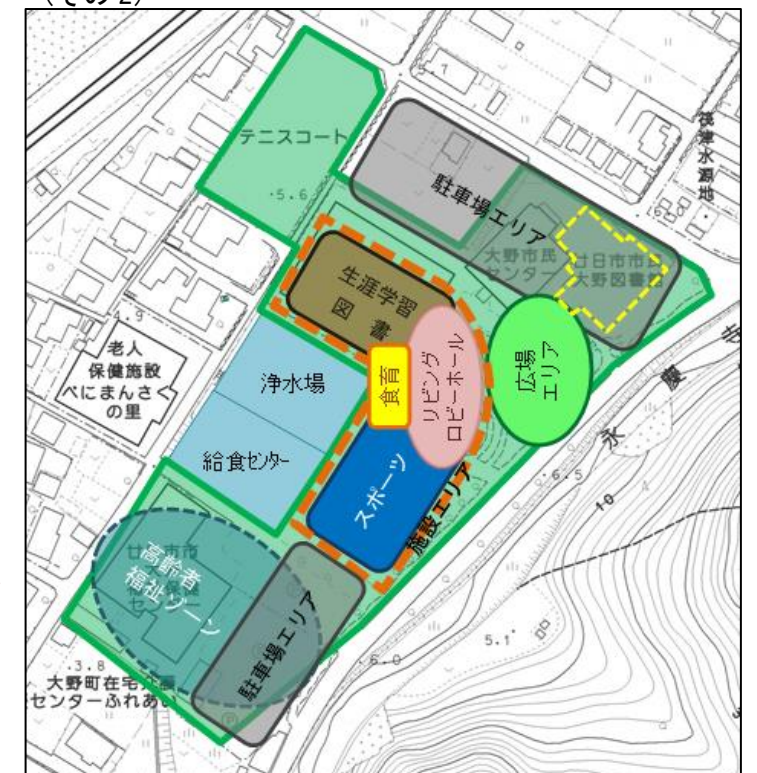
（その1）



（その1）図書館改修・増築型

- 体育館を建替えスポーツエリアを整備
- 市民センターを解体
- 図書館を活用して、増築、改修（2F）し、生涯学習や子ども図書エリア等を整備
- リビング・ロビーホール、食育エリアを新設して各施設をつなぎ、一体化整備
- 北側に広場エリア（屋外遊び場・憩いの場）を整備

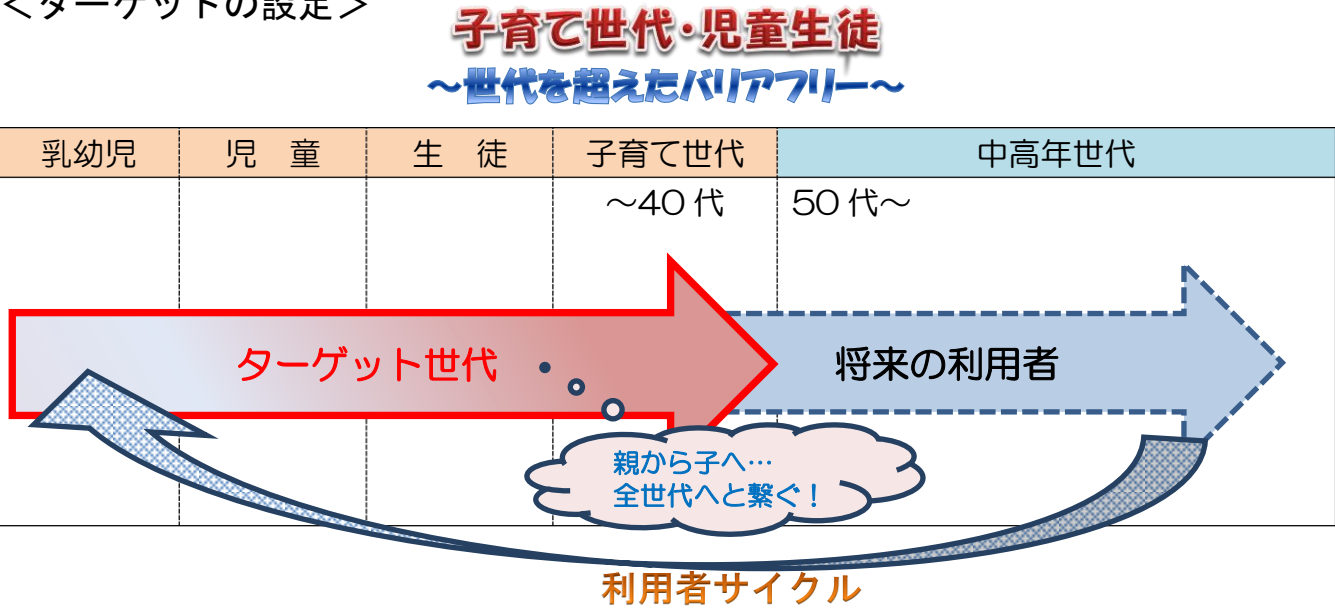
（その2）



（その2）図書館建替え型

- 体育館、市民センターを解体し、スポーツ、生涯学習、図書、食育エリア、リビング・ロビーホールを一体的に整備
- 施設の前面に広場エリア（屋外遊び場・憩いの場）を整備
- 図書館は、更新時期には整備せず建替えし、駐車場ゾーンとして整備

＜ターゲットの設定＞



＜整備の基本的な考え方＞

- ① 安全安心で子育てに優しく、子どもたちを応援する環境、居場所を創出
- ② 機能集約と一体運営による効率的で将来にわたり持続可能な施設

安全の確保

- 耐震基準を下回る施設（大野市民センター、大野体育館）については、建替えの方向で検討
- 大規模改修時期が到来する施設（大野図書館）については、更新の可否や活用策について検討

子育て支援

- ネウボラ、子育て支援センター（屋内遊び場）、広場（屋外遊び場）、授乳室、子ども図書室、喫茶・軽食・学校給食の提供など、子育て世代のニーズに対応
- フリースペースなどの居場所づくり

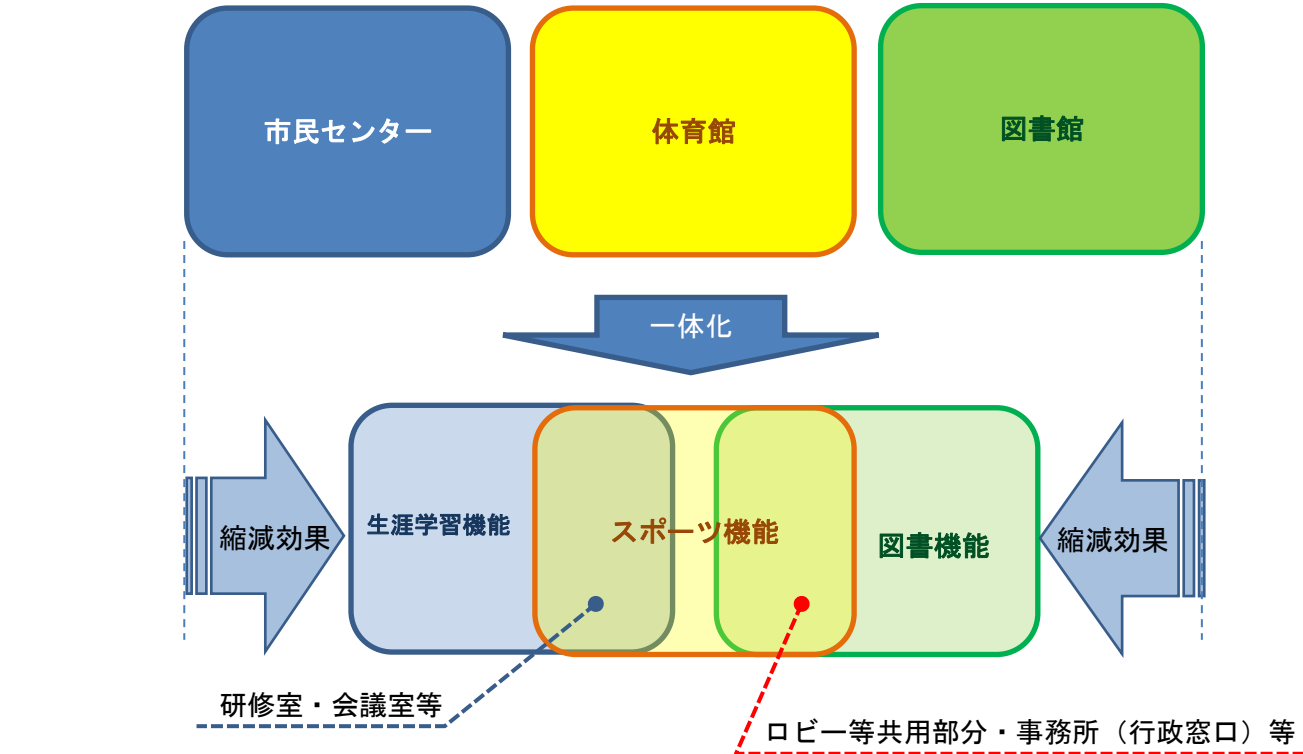
施設の効率化

- 目的別施設を集約した一体施設（1つの施設として整備）
- 重複機能を集約（会議室や研修室、事務室、さらに、ロビーや通路、トイレなどの共用部分）
- 一体運営による効率的な運営

施設規模の考え方

- 現在の活動が確保できる規模
- 市民センター：1,500㎡程度（市民センター・子ども図書室）
- 体育館：2,500㎡程度（現行のアリーナ、柔剣道場等と同等規模）
- 図書館：1,300㎡程度（現行施設の1F部分と同等規模）
- リビング+ロビーホール：1,000㎡程度（ネウボラ・子育て支援センター・ロビー・事務所等）
- 民間提案エリア：1,000㎡程度（喫茶・軽食などの居場所・魅力づくりの収益施設）
- （全体規模）1,500㎡+2,500㎡+1,300㎡+1,000㎡+1,000㎡=7,300㎡

＜施設の一体化と縮減のイメージ＞



＜事業手法の検討に当たって＞

- 耐震性の低い体育館（Is=0.05）について迅速に対応
 - これまでの市民活動は確保しながら、より活動しやすい環境や市民ニーズを捉えたサービス提供と施設運営
 - 民間ならではの付加サービス（カフェやくつろぎの空間など）の提供など、機能を重視した持続可能な施設・地区づくりを実現
 - 民間のノウハウを活用した、効率的、効果的な施設整備（延床面積の縮減）や運営（サービスの向上）
- 提供サービスや施設運営に合わせた施設整備のためのDBO方式による事業手法に向け、調査、検討

＜全体スケジュールのイメージ＞

区分	H30	H31	H32	H33	H34
議会	●議員全員協議会 ●補正予算（①②関連） ●補正予算（③関連） ●当初予算案				
施設整備 市民C 図書館 リビング	①基本計画策定 ・地元説明会 ・サウンディング調査（2回） ③アドバイザー業務（実施方針・募集要項・要求水準書）	（機能・仮ゾーニング・スケジュール・事業手法・VFM・導入可能性調査等） ●業者決定（DBO）	設計～解体～工事	供用開始	
施設整備 体育館	②解体設計	実施設計 解体工事	新築工事	一部（体育館）供用開始	